

# 米国の都市鉄道のルネッサンスと日本の鉄道車両工業とのパートナーシップ

メトラ

鉄道車両設備投資部門長

ウィリアム・コラン

## Renaissance of passenger rail industry

### 旅客鉄道産業のルネッサンス

My name is William Koran and I am Department Head, Mechanical Capital Projects (capital rolling stock projects) for Metra Commuter Rail in Chicago, Illinois. I have spent almost my entire career, thirty-seven years passenger rail industry. During my career I witnessed the decline of passenger rail industry in the United States with car builders like St. Louis Car, Pullman Standard (where I started my career) and the Budd Company going out business to the current renaissance where companies like Kawasaki, Bombardier and most recently Nippon Sharyo have invested to establish a permanent presents in the US passenger rail market.



私は、イリノイ州シカゴを拠点とするメトラ<sup>a)</sup> 通勤鉄道の機械設備投資（鉄道車両設備投資）部門長のウィリアム・コランです。私は、37年間に渡って、旅客鉄道産業界に奉職し、キャリアを重ねてきました。このキャリアを通して、『セントルイス・カー<sup>b)</sup>、プルマン・スタンダード<sup>c)</sup>（私がキャリアをスタートした会社）及びバッド<sup>d)</sup>などの名門の車両製造業者が、旅客鉄道車両の製造事業から撤退する』という米国旅客鉄道産業の“衰退”から、『川崎重工業、ボンバルディア、そして日本車輛というような国外の会社が、米国旅客鉄道市場に恒久的な存在を確立すべく投資した<sup>e)</sup>』という現在の“ルネッサンス（復興）”までを目撃してきました。

## Metra and Nippon Sharyo have enjoyed a partnership

### メトラと日本車輛とのパートナーシップ

For the past twenty years Metra and Nippon Sharyo have enjoyed a partnership that has brought 479 bi-level push-pull commuter cars to the Metra making-up over 55 percent of our locomotive hauled commuter car fleet. In addition with completion of delivery in 2015, Metra's Electric District, like our sister agency, the Northern Indiana Commuter Transportation District, will have a modern fleet of EMU commuter cars designed and built by Nippon Sharyo. With such a history it is appropriate the Nippon Sharyo choose Rochelle, Illinois as the site for its new manufacturing facility. Metra is proud to be the first of what will be many US Transit Agencies to receive cars from this facility.

この20年間、メトラと日本車輛とは、良好なパートナーシップを築きながら、479両の日本車輛製のプッシュプル運転用ギャラリートップ2階建て通勤客車<sup>f)</sup>を導入してきました。これらは、メトラの保有する客車総数の55%以上を占めます。加えてさらに、2010年から増備を進めている“新ハイライナー電車<sup>g)</sup>”のデリバリーが2015年をもって完遂することで、メトラ エレクトリック線の車両は、私たちの姉妹会社である北インディアナ旅客輸送公社<sup>h)</sup>と同じように、日本車輛で設計・製作



ロシェルの第一号製品となるメトラ新ハイライナー電車

されたモダンな通勤電車に統一されることとなります。このような経緯を踏まえて、日本車輛が新しい製造施設の場所としてイリノイ州ロシェルを選択したことは適切と考えます。また、今後、この施設から車両を受け取るであろう合衆国の鉄道事業者が数ある中で、ロシェル工場の第一号製品を受け取ることを、メトラは光栄に思います。

There is a banner at Nippon Sharyo's Rochelle facility that states "Quality Cars Delivered on Time and on Budget". This more than just a moniker, it is a fact that Metra can attest to. It is also the reason why Nippon Sharyo has been able to fill order book for new passenger rail vehicles to be built at this facility. Nippon Sharyo has and continues to have a long and rich tradition of providing passenger rolling stock in Japan and, is now poised to do the same in the United States.

日本車輛 USA, Inc. のロシェル工場には、『時間通りそして予算通りに納車された高品質な車両』と書かれた横断幕が掲げてあります。ここに書かれていることは、名目のみならず、メトラが証明することのできる事実です。そして、それは、「なぜ日本車輛が、ロシェル工場の旅客鉄道車両オーダーブックを満たすことができているか」の理由でもあります。日本車輛は、日本において旅客鉄道車両を供給するという長く立派な伝統を持ち続けています。そして今、合衆国においても同様の態勢ができています。

編集部注 a) メトラ（北東イリノイ地域鉄道公社）は、全米第三位の都市である人口 271 万人（2012 年）のシカゴとその近郊地域で旅客輸送サービスを提供する鉄道事業者である。シカゴの中心街から郊外に延びる 11 路線（非電化 10 路線、電化 1 路線、総延長距離 784.9 km）、241 駅を運営している。メトラの公表する 2012 年度の旅客輸送報告書には、メトラ全線の年間輸送量は、8 130 万人で、一日当たりの平均旅客数及び列車運行数は、平日 30 万 5 千人（703 列車）、週末 11 万 6 千人（土曜日 296 列車、日曜日 163 列車）とある。また、2012 年末の所有車両は、内燃機関車 146 両、客車（プッシュプル用運転台付き客車を含む）837 両及び電車 194 両となっている。

- b) セントルイス・カー・カンパニー（1887～1973 年）ミズリ州セントルイスを拠点として、電車、路面電車、トロリーバス、蒸気機関車などを製作していた。代表的な車両としては、1930～1950 年代の PCC カー（高性能路面電車）、NYC（ニューヨーク市地下鉄）R8（1938 年）～R44（1973 年）などがあった。
- c) プルマン・スタンダード・カー・マニュファクチャ・カンパニー（1924～1987 年）1867 年にシカゴ近郊のイリノイ州プルマン市に設立された豪華寝台客車列車の製造・運用を行っていたプルマン・パレス・カー・カンパニーの車両製造部門が 1924 に独立する形で設立された。1960 年代以降は通勤鉄道、地下鉄向けの車両、アムトラックのスーパーライナーなど、1970 年代にはニュージャージー州交通局 通勤用コメット客車（1970 年）、NYC R46 などが製造された。1987 年の買収によって、旅客用車両の設計及び特許類は、ボンバルディア社に継承された。
- d) バッド・カンパニー（1930 年代～1987 年）1912 年設立のミシガン州トロイに本社を置く金属加工メーカーで、スポット溶接によるステンレス接合を開発し、それらの技術を生かして、1934 年に流線形のステンレス構体を採用したバイオニア・ゼファー号を製作したことに始まり、優等列車、ディーゼル動車、都市鉄道及び地下鉄電車 アムトラック アムフリート、メトロ・ノース M-1/M-3、NYC R11（1949 年）R32（1964 年）など数々のステンレス製車両を製造していたが、シカゴ交通局 2600（1987 年）を最後に、ボンバルディア社に鉄道部門が買収された。
- e) 1987 年にボンバルディアによるプルマン・スタンダード及びバッド両社の鉄道部門の買収によって、米国旅客鉄道産業の技術が継承されたことに始まり、2001 年に川崎重工業、2012 年に日本車輛が合衆国内で鉄道車両の一貫製造を行うために、新たに建設した自社工場が稼働を始めるなどの投資が行われ、それらの工場から数々の米国生まれの新形車両が登場をしている。さらに、2012 年には近畿車輛が 2015 年の本格稼働を目指して、合衆国内に自社工場の建設を開始している（2013 年にぎ装工場は稼働）。
- f) ギャラリータイプ車両は、車両の中央部に乗降用出入台を設け、客室内は通路部分が吹き抜け構造の 2 階建車両（電車及び客車）である。また、プッシュプル方式は、列車最後尾の車両に運転席を設け、先頭部の機関車を制御することで、折り返し運転時に機関車の交換・機回しが不要となる。
- g) 本誌 108 ページ参照。
- h) 北インディアナ旅客輸送公社は、イリノイ州及びインディアナ州を走る都市間電気鉄道サウスショア線を運営し、1 階建て及びギャラリータイプ 2 階建ての電車を運行している。



メトラ エレクトリック線（複々線区間）  
（メトラパンフレットから転載）